| 学校番号 | 3032B |
|---|---|

令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ｂ | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次前期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編　数学Ｂ　（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | クリアー数学Ｂ　（数研出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・理論に適しているのかどうか、正しく分かり易い方法かどうかなど、絶えず考える習慣をつけてください。
・問題集用のノートも用意し、自習用（家庭学習用）に用いてください。定期的に提出してもらいます。
・問題を解くときは、単に計算は式の羅列ではなく、考え方やなぜそうなるのかといった理由も書き添えるようにしましょう。答え合わせもしましょう。答えが異なるときは、特に、どこで差異が出てきたのかを確認し、納得できるかどうか考えましょう。そして、後から（後日）、もう一度その問題に取り組み、解答を見ずに解くことができるか確認しましょう。

2　学習の到達目標

数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，考察する力を養う。数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。<br>・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 | ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。<br>・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 | ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 数列 | 数列<br>漸化式<br>数学的帰納法 | a：いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。<br>b：事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。<br>c：問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 | 単元テスト<br>提出物 | 単元テスト<br>提出物<br>振り返りシート | 振り返りシート<br>提出物<br>振り返りシート |
| | 統計的な推測 | 標本調査<br>確率分布<br>正規分布<br>統計的な推測 | a：正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。<br>b：目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。<br>c：事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 | 単元テスト<br>提出物 | 単元テスト<br>提出物<br>振り返りシート | 振り返りシート<br>提出物<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度